

最後の大型放射光施設見学

テクノで先端技術施設が一般公開

四月二十一日(日)、来秋にまちびらきイベントが行われる播磨科学公園都市で各施設の一般公開が行われ、多くの見学者でにぎわいました。

注目的は大型放射光施設「Spring-8」。来年の八月末から稼動テストが始まり、見学できるのも今年が最後とあって、約六千三百人の方々が訪れました。

施設内には展示パネルや電磁石、説明ビデオなどの各コーナーが設けられ、施設の仕組みや医療技術への応用などわかりやす



大型放射光施設(Spring-8)内の見学

い説明に、皆さん熱心に聞き入っていました。その他、先端科学技術支援センターで、上郡中学校と米國ハワイ州のアイオア中学校とのテレビ会議も催されるなど、皆さん科学技術への興味と理解を深めました。また、協賛事業としてコピーふれあいフェスティバル'96が催され、楽しいステーションや造成地に並んだフリーマーケットではたくさんの家族づれがにぎわい、買い物、青空の下での昼食など春の一日を楽しみました。



テレビ会議で日本の花見を紹介しました

スウェーデンから

ブラスバンドが来町



4月9日(火)、満席の中央公民館大ホールでスウェーデンのブラスバンドによるコンサートが開催されました。お年寄りから子どもまで町内外からたくさんの音楽ファンが集まり、演奏と合唱の調べを楽しみました。

演奏終了後は、ロビーで楽団のメンバーと握手やサイン、記念写真撮影などがあちらこちらで行われ、引き続き催された交流会でも談笑の輪が広がりました。

『なぜ上郡町にやってきたの?』

桜の花がほころび始めた頃、スウェーデンから三十二人の外国人が上郡町にやってきました。これは、チャリティーコンサートを開くために来日した方々で、楽団名は「フィラデルフィア・ブラス&バンド」といいます。東京・和歌山・大阪・上郡・宝塚・名古屋の順にコンサートが開かれました。

この楽団は、スウェーデンリンシヨピン市(人口約十三万人)内のいくつかの教会の中のメンバーで構成されており、毎年海外演奏旅行を行っています。来町のきっかけは、約二十年前に上郡福音教会で働いておられたスウェーデンの宣教師エディフォース・ボルジェさんが、

お世話になった上郡町への感謝の心を音楽を通じて表したい。またそれがスウェーデンと日本の草の根文化交流に少しでも役立てればと思われ、同氏の尽力により上郡文化協会主催のコンサートとして実現の運びとなりました。

ホームステイで 町民との 交流を深める

コンサート移動の途中、上郡町ではぜひともホームステイで交流を深めたいとバンドから要望があり、ホストファミリーを募集しました。

主催者も応募があるかどうか不安でしたが、あつという間に二十件の家庭から応募がありました。お年寄りの二人暮らしの家や子どもが他国のホームステイでお世話になったお礼になど、好意的な受け入れに一安心。すでに心と心のふれあいを感じられ大成功の予感がしました。

